

開 倫 塾 2025/12 NEWS

第443号

●社会で求められる英語力とは、必要なことを
自分のことばでいえる(表現・説明できる)英語力

●塾生のひろば
上三川校

●新中1準備講座

岡本校校長 郡司浩行

●私の勉強方法 No. 204

宇都宮市立姿川中学校(江曾島校) 3年 S・S

●栃木県立高校入試

雀宮校校長 寺内大智

●私の勧める勉強方法 学校の授業を大切にしよう
宝木校校長 信夫鐘文

学校の授業を大切にしよう

宝木校校長
信 夫 鐘 文

1. 学習時間のほとんどは学校の授業

皆さんは学校の授業を大切にしていますか。特に意識しないで、ただ何となく毎日過ごしている人も多いのではないのでしょうか。確かに、疲れていて眠い日もあるでしょう。学校の授業のペースが自分には合わないと思っている人もいるかもしれません。しかし、中学生は一日の大半を学校で過ごします。家で3時間自己学習をしたとしても、学校の授業時間のほうがずっと長いのです。ですから、学校の授業を大切にすることは、成績アップの土台づくりに欠かせないのです。



開倫塾 宝木校

2. 授業のための準備が予習

開倫塾に通っている皆さんは、塾の授業を受けることで、学校の授業の予習をすることができます。わからないところがあれば、すぐに先生に聞いて解決しておく、学校の授業をより深く理解することができます。また、習った単元と関係のあるところの復習をすることも予習の一つです。英語であれば単語の暗記、数学であれば計算練習も広い意味では予習です。学習を実りあるものにするために、できる限り準備することが、予習というものの本質なのです。

3. 苦手な教科の授業が大切

苦手な教科の授業はどうしても頭に入ってきづらいものです。授業を聞かない→わからない→つまらない→授業を聞かない……この悪循環から抜け出すためには、何がわからないのかを明確にする必要があります。授業中にわからない単語や言葉、問題が出てきたら印をつけておいて、開倫塾の先生に教わりましょう。わかるようになれば授業を気持ちよく受けられます。ぜひ開倫塾の先生を頼ってください。そして、学校の授業を大切に受けましょう。



If you can dream, you can do it!

(もしあなたが夢をみる事ができれば、あなたはそれを実現することができる)

開倫塾ホームページアドレス ● <http://www.kairin.co.jp>



社会で求められる英語力とは、
必要なことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)英語力

開倫塾 塾長 林 明 夫

開倫塾教育目標
高い倫理力
高い学力
高い国際理解
自己学習能力の育成

Q 塾長は、中学校・高校・大学・大学院などに招かれて、社会に出てから求められる能力とは何かをお話になってあるそうなので、お聞きしたいことがあります。企業や団体など、社会に出てから求められる英語力とは何ですか。

A (林明夫。以下省略)

(1) 例えば、外国の企業が日本にお金を投資して日本で企業活動をするのを、「対内直接投資(日本の国内に對して投資する)」といいます。名目GDP(国内総生産)に對する「対内直接投資残高」の割合は、3.4%(2023年度末)と、国際比較で、世界198か国中、第196位。日本の下には、2つの国しかありません。

(2) 日本は、世界第4位の経済大国であり、科学や技術、教育の水準は極めて高く、電力も安定、上下水道も完備、物価は安く、法律も整備、安全な国と、魅力にあふれています。(3) なぜ、外国の企業は、日本の企業や団体にお金を投資して仕事をしないのか。日本への投資が、18か国中、下から3番目の国なのか。

○これは、日本にとって大問題です。中学校での「調べ学習」や、高校での「探究型学習」、大学や大学院での「調査研究」の「テーマ」として、是非、この原因を調べ、対策を考え、提言にまとめ、発表してください。

GDP (国内総生産)



Q このことと、社会で求められる英語力とは、どう関係があるのですか。
A (1) 勘のいい方はわかりかと思いま

Q では、どのように英語を勉強したらよいのですか。
A (1) 多くの日本人は小学校、中学校、高校、大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院、コミュニケーションカレッジ、ラジオ、TV、通信教育等、様々な「英語の教育プログラム」で英語を学んでいます。
「英語のテスト」で点数が取れて入試に合格しても、英検やTOEIC・TOEFLなどで点数が取れても、英語でいいたいことがいえない・書



Q 外国で仕事や生活、勉強をする時や、外国の企業や団体と仕事をする時にも、「仕事や生活、勉強で必要とされる英語」が大切なのですか。
A その通りです。「仕事や生活、勉強で必要なことを自分のことばでいえる表現・説明できる」英語を身に付けることが必要です。

きたいことが書けない、英語の本を最後まで読み終えることができない、英語でメモやノートが取れない、英語でレポートが書けない、つまり、英語が身に着いていない人が多いのです。

それは、なぜか。

(2) 答えは、とても簡単です。
① 日本で英語を学ぶ人のほとんどは、学校やいろいろなところで英語を勉強しても、十分に「復習」する人が少ない。学んだ英語を「発音練習・暗唱」「書き取り練習」をする人は、さらに少ないからです。
② 英語はことばですから、「目で文字を追うだけ」で身に着けることは難しいからです。

(3) では、どうしたらよいのか。
① 英語の授業の「復習」とは、その日に学んだ「英語」のテキストや「授業ノート」を、もう一度ていねいに「学び直す」こと。
② どのような意味や内容の英語か、辞書で意味を確かめ、文法の勉強もし直す。練習問題はすべて解き直す。そして、授業の内容の「理解」に努めること。
③ 英語の授業の「定着」とは、一度「理解」し、「授業」で学んだ「英語」のテキスト「英語の授業ノート」を、全部、ていねいに「身に着ける」こと。

○このように、「一度学んだ英語」の「復習」と「定着」を、コツコツていねいに行えば、英語は身に着きます。「仕事に必要な英語」は、誰でも確実に身に着きます。



Q では、どのように「定着」をはかればよいのですか。

A (1) 学んだ英語・英文はすべて、母音・子音・イントネーション・抑揚に注意して、正確に、スラスラよく読めるようになるまで「発音練習・暗唱」すること。

(2) 「発音練習・暗唱」した英語・英文はすべて、何も見ないで正確に書けるようになるまで「書き取り練習」すること。

(3) 日本の学校や学習塾、予備校では、「定期試験」や「入学試験」「模擬試験」「英語検定」など、「英語の問題を解く」勉強もたくさんします。「一度解いた英語の問題と解答解説」に出してきた英語・英文も、「復習」「定着(発音練習・暗唱、書き取り練習)」の対象とすることが、「重要」です。

最後に一言どうぞ。

A Q (1) 仕事に就いた後も、「一度学んだ英語」は必ず「復習」。「復習」し終えたら、「発音練習(暗唱)」「書き取り練習」。「一度学んだ英語を用いて、自分のことばでいえる(表現・説明できる)」ことを目指す。これが、社会に出てから求められる英語の学び方です。

(2) 日本で英語を学ぶ人が「復習」と「発音練習(暗唱)」「書き取り練習」をしていねいに行えば、「社会で役立つ英語」が身に着きます。
(3) 外国の人々とも、一緒に仕事ができます。外国で、仕事や生活、勉強する時にも役立ちます。
*では、頑張ってください！



(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授
作 新学院 大学 客員 教授)

新中一準備講座

栃木県立高校入試

岡本校校長
郡司 浩行

雀宮 校長
寺内 大智

1. 中学生の準備を始めよう

小6生の皆さんは、約4か月後には中学校に進学します。そのため、中学校のことが話題になってくる時期なのではないでしょうか。特に、勉強面での変化は大きいので、早めに準備をして柔軟に対応できるようにしていきましょう。

中1生の学習内容は、小学生のものと比べると格段に難しくなり、学習量も増えます。それに伴って、学校の授業のスピードもだいたい上がります。そして、「定期テスト」と呼ばれる、小学生の時より広い範囲でのテストが待っています。その結果は、通知表の評定を決める資料となり、高校入試の際の評価の一部「調査書」まで影響を及ぼします。ですから、将来、進学しようとする高校の選択肢を増やすためにも、学習内容を確実に身に付け、高得点を取っておくことが求められます。

そこで開倫塾では、小6生の全学習内容を12月中に終わらせて、冬期講習以降は、中1生の学習内容を先取りして学習していきます。それが、「新中1準備講座」です。

中学校に進学すると、部活動などが本格的に始まり、小学生の時ほど時間に余裕がないのが現実です。ですから、少しでも早めに予習・復習をしておくことはとても重要で、今後の学習の助けとなってくれるでしょう。また、塾で一度学習しているため、中学校での実際の授業が復習になり、「ん？知ってるぞ、これ！」とよい循環を生み出し、自信にもつながっていきます。

学習内容の「理解」を前もって行っておくと、学校の授業が「定着」の場となり自信がつく。すると、もっと難しい問題にも取り組んでみようという「応用」への気持ちが高まってくる。つまり、開倫塾が推奨する「学習の3段階理論」に

基づいた勉強方法が自然とできるのです。

2. 講座の学習内容は

英語は、小学生では簡単な会話文などを聞いたり話したりすることが中心でした。中学英語では、それにプラスして読むことや書くことにも力を入れます。アルファベットを完璧にし、単語から英文へとレベルを上げ、4技能（読む・書く・聞く・話す）をより上のランクへと導きます。初めは書くことがとても高いハードルに感じるかもしれませんが、しかしその感覚は入学前までに取り除きまして、スムーズに中学校での授業に入っていくようにしていきます。

数学（算数）は、まず、今まで習った内容の中から重要単元を復習します。これは、中学校でよく出題される応用問題を解く準備のためです。中1では「方程式」の応用問題を力を発揮していきます。その後、「正負の数」を学習していきます。小学校では触れなかったより小さい数という新しい考えにチャレンジしていきます。

国語は、習った文法の復習から始まり、その後、中学校内容の文法へと発展させていきます。高校入試によく出る敬語表現なども学習します。高校入試・大学入試とも、文章を正確に読み取る力を評価される割合は、アップしています。その土台となる文の約束事はできるかぎり完璧にしておきたいところです。また、余裕のある塾生の皆さんは文章問題にも取り組んでいきます。

英・数・国の主要3教科は、積み重ねが大事です。忘れていくところは補強し、「新中1準備講座」で早めに予習することで中学校生活に余裕を持ちたせましよう。そして、1学期最初のテストでは、500点満点を目指して頑張りましょう。



栃木県立高校入試には、「特色選抜」と「一般選抜」の2種類があります。入学者の選抜方法が違うので、対策も変わってきます。以下に、それぞれについてお話しします。

1. 特色選抜

一般選抜より早く実施され、2026年度は2月5日（木）と6日（金）に行われます。1日で試験が終わる高校もあれば、2日間実施のところもありますので、自分で志望校の日程を確認しましょう。また、高校によつては「資格要件」を設定する場合もあります。自分が要件を満たすかどうかを確認しておいてください。まずは、志願理由書を完成させましょう。面接官は提出した志願理由書や学校からの調査書をもとに質問します。嘘偽りなく自分の言葉で表現することが肝心です。募集要項に記載された資格要件の何を満たすのか、高校で何を学び、活かしたいのかを具体的に示す必要があります。下書きの段階から、根気強く先生に添削してもらいましょう。

次に、小論文や作文に関してです。高校によつて傾向が異なりますので、過去の出題例を参考にしましょう。小論文は作文と異なり、客観的に根拠を示しつつ自分の考えを述べられるよう練習をしておいてください。作文は国語の試験にあるものより字数が多いので、時間内に仕上がるように練習を重ねましょう。

2. 一般選抜

学力検査による一般選抜は、3月5日（木）に実施されます。この日の試験での得点と中学校から高校へと提出される調査書をもとにした内申点との合計により合否が決定します。この学力検査と内申点の比重は高校ごとに異なるため、自分の受検する高校の配分をしつかりと確認

しておきましょう。どの高校も学力検査の割合が高いため、試験本番までの学習が大事です。合格を目指して授業を復習し、定着を図ってください。

《国語》時間配分に注意しましょう。漢字、説明的文章、文学的文章、古典、文法、作文の出題があります。解き終わらないことがないように、時間配分を意識した過去問演習を心掛けましょう。

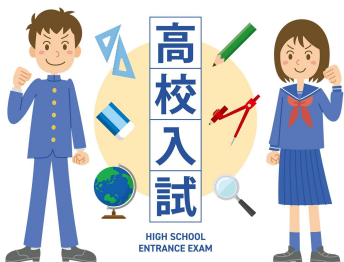
《社会》まずは一問一答問題集で知識を固めましょう。公民は地理歴史に比べて定着度が低い傾向にありますが、必ず出題されます。準備を怠らないでください。知識問題に自信がつけいたら、記述問題も特訓しましょう。

《数学》応用問題も大切ですが、計算ミスで減点しないように気をつけましょう。自分がした計算ミスをまとめ、自己分析を重ねてください。人間はミスをするものです。それと同時に、人によってしやすいミスも違いますが、見極めてください。

《理科》大問8題構成となり、小問集合がなくなりました。しかし、語句を覚えることは基礎ですので、一問一答問題集を繰り返し、知識の土台を築きましょう。また、記述問題や作図もありますので、対策を行いましょ。

《英語》長文読解でしつかりと得点できるように、読解訓練を重ねましょう。毎日英語に触れることが定着の鍵です。英文は、知っているフレーズの多さで決まります。授業で紹介された例文は暗記しておきましょう。

近年の入試では、科目を問わず文字数が増加しています。時間との勝負です。己を信じ、悔いが残らないよう全力を尽くしてください。



私の勉強方法

塾生のひろば 上三川校

◆私が実力テスト対策をするときには、1・2年生の頃のワークを解き直します。その中でも単元別のまとめのページを解き、悩んだところを細かく解いています。

中3 T・H

◆私は、試験問題を繰り返し解くという方法で勉強しています。高校入試の形に近い問題を解くことで、入試本番に備えています。

中3 S・Y

◆私の勉強方法はワークを繰り返し何時間も勉強することです。社会の語句や英単語は覚えるまで繰り返すと、自然と身につけてきます。

中3 N・R

◆私は、自主学习で基礎的な問題や難しい問題を解きます。そして、間違えた問題にはチェックを付け、正解するまで繰り返し取り組んでいます。

中3 K・S

◆私の勉強方法は、ワークをひたすら解くことです。ワークを1周して、2周目からは間違えたところを中心に勉強をしています。

中3 I・H

◆私のテスト前の勉強方法は、間違えた問題だけを何度も繰り返し解くことです。1回で解けた問題よりも、自分が苦手な問題をやると結果に出やすいです。

中3 T・M

◆私の勉強方法は、ワークを繰り返し解くことと、記述の問題をノートに写して、完璧になるまで見ることです。この勉強方法で、点数を上げられました。

中3 N・Y

◆私の勉強方法は、25分集中して勉強をし、5分好きなことをする、これを繰り返すことです。こまめに休憩をするので、しっかり集中力を保てます。

中3 K・R

◆私は、テスト前にはワークを最低2回するように心掛けています。また、寝る前には教科書のテスト範囲のところを読むようにしています。

中3 K・U

◆私のテスト前の勉強方法は、間違えたところとわからなかったところを繰り返し復習することです。ただ答えを見るのではなく、分かるまで解説を読んでいます。

中3 Y・R

◆私は、1時間ごとに区切って勉強しています。1時間やったら違うことをしてもいいし、続けてやってもいいので、飽き性の人におすすめです。

中3 K・S

◆私の歴史の勉強方法は、教科書を熟読することです。ワークに出てくる問題の答えについて詳しくのっていて、知識が増えています。

中3 I・S

◆私の定期テストの勉強方法は、ワークを2回以上繰り返すことです。私は社会が苦手なので、意味や人物をセットにして、声に出して覚えるようにしています。

中3 N・A

◆私が普段行っている勉強方法は、よく復習をすることです。ワークやテストで間違えたところを繰り返しやることで、苦手を克服し、成績を伸ばせると思います。

中3 K・H



上三川校では、問題の解き直しを重視した勉強方法を指導しています。塾生の皆さんは、ただ答えを覚えるのではなく、根拠やその問題の条件に合った答え方を研究したり、実施時間や休憩のタイミングなど時間の使い方を工夫したりして、自分にとってのベストを探究中です。

上三川校 酒井澄

12月日程表		
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	小学生テスト(北関東) 中3土曜ゼミ⑩(北関東) 中3入試対策ゼミ⑬(東京) 栃木放送開倫塾の時間
7	日	中3日曜ゼミ③(栃・茨) 群馬県統一テスト(中3)⑧ 北辰テスト(中3)⑦ 都立Vもぎ①(東京)
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	中3土曜ゼミ⑪(北関東) 中3入試対策ゼミ⑭(東京) 栃木放送開倫塾の時間
14	日	中3日曜ゼミ③(群) 都立Vもぎ②(東京)
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	中3土曜ゼミ⑫(北関東) 栃木放送開倫塾の時間
21	日	中3日曜ゼミ④(栃・群) 茨城統一テスト(中3)⑦(中1・2)⑥ 都立Vもぎ③(東京)
22	月	
23	火	2学期授業終了(北関東・東京)
24	水	
25	木	
26	金	冬期講習① ①
27	土	冬期講習② ②
28	日	冬期講習③ ③
29	月	冬期講習④ ④
30	火	正月特訓① ①
31	水	正月特訓② ②

※10月31日現在の予定です。

学力の向上を目指して…

私の勉強方法 No. 204

宇都宮市立姿川中学校(江曾島校) 3年
S・S

1. 休憩の取り方の工夫

僕が普段している勉強方法を三つ紹介します。
一つ目は、キリのいいところで終わらせないことです。よく、「キリが悪いからここまで終わらせてから休もう。」という人を見かけますが、僕は違います。逆にその気持ちを逆手に取り、あえてキリが悪いところで休憩に入ります。そうすると、休憩が終わった後で「早く続きを解きたい。」という気持ちになり、集中力を維持することができます。



2. 学習の質を高める

二つ目は、中身のある勉強を意識することです。僕は中学1年生の時に、長時間勉強をしたことで満足し、身についたと勘違いしていました。もちろん点数は伸びなかったのも、苦い思いをしました。そこで勉強の前に、何時までにこの範囲を終わらせるといった目標の明確化を図りました。ほかにも、分からないときは一人で考え込むのではなく、先生か友達に聞くようにもしています。このように、効率よく質の高い勉強を心掛けるようにしています。



3. 学んだらすぐに復習

三つ目は、新しく学んだことをなるべく早く復習することです。学校の先生からも、授業で学習したことはその日のうちに復習しようと言われます。僕は学習した次の日に復習をしています。そして、自己学習の最初はいつも前日の復習から始めます。そうすることで、成長がわかりやすくなります。また、スラスラ解ける問題から手をつけることによって、勉強のモチベーションを上げています。



「開倫塾ニュース」2025年12月1日号

編集者＝開倫塾教務部

発行所＝開倫塾

(栃木県足利市堀込町145 TEL0284-72-5945)

発行責任者＝林 明夫

CRT 栃木放送「開倫塾の時間」・ラジオ栃木放送(1530kHz、1062kHz、864kHz <http://www.crt-radio.co.jp/>) 毎週土曜日午前9時15分～25分。塾長林明夫が、塾生だけでなく社会人も含めて一生涯活用できる「効果の上がる勉強方法とは何か」をテーマに、39年間語り続けている世界に1つしかないラジオ番組です。